

令和2年

# 緑の学び舎

ニュースレター



特集

## 持続可能な維持管理組織運営のコツ

- 技術支援事業
- 東京都補助金制度
- 校庭芝生の親方・匠
- あっぱれ！親方・匠





## 府中市立白糸台小学校

児童数：545名  
(令和2年5月1日現在)  
芝生化面積：4,079m<sup>2</sup>  
芝生化完成年度：平成22年度

機能的な組織で、快適・安全な校庭芝生をこれからも児童に

### 校庭芝生化のスタート

平成22年6月から校庭芝生化工事を始め、同年9月より使用しています。青少年の健全育成の推進を事業計画に位置づけ、それに向けて学校とPTA、校庭使用団体、そして地域の方が協力し、芝生の維持管理を通して相互関係を深めています。緑の校庭芝生、白い校舎、青い空の空間は清々しく、温かさ、柔らかさを感じます。児童は毎朝、この素敵な景色を見て登校しています。

府中市立白糸台小学校  
校長 寺田 慎吾



平成28年撮影

### 人に優しい校庭芝生と地域とのつながり

各団体の代表が「白糸台小学校校庭芝生化推進協議会」に加わっています。専門業者の指導を受け、PTAを中心に月2~4回手入れをしています。校庭利用団体の保護者の皆さんは側溝掃除、用務員は芝刈り担当です。機能的な組織が良好な教育環境を支えています。芝生は転んでもやわらかいので、力一杯投げ、走り回れます。芝生が人に優しいことは、校庭でのけがが少なく軽微という保健室の記録からも分かります。休み時間は良い意味で児童と遠慮なく、のびのびした接し方ができます。芝生は児童の心身の感受性向上に寄与しています。特色ある教育活動のタグラグビークラブは、全国大会にも出場しています。ふだん芝生で練習していますので、試合会場の芝生に戸惑うことはありません。また、地域や幼稚園の運動会で校庭に来た方が、老若を問わず笑顔で思いっきり体を動かしている様子も印象的です。



### 芝生の役割とこれからの展望

過去10年間の経験を基に、新たなアイデアを織り込んで校庭芝生が地域の資産になるよう願っています。我が町の白糸台小学校とのつながりが、校庭芝生から始まる機会が増えることを期待しています。校庭芝生を利用された方が、我が町の歴史を教えてくださいました。教室での教育に加え、校庭芝生で何を教えられるかを、更に考えたいです。校庭芝生が地域の方と学校をつなぐきっかけになり、それを育むことに役立つならとてもうれしいです。



## 日の出町立大久野小学校

児童・生徒数：319名  
(令和2年5月1日現在)  
芝生化面積：3,810m<sup>2</sup>  
芝生化完成年度：平成25年度

地域の学校の優しい校庭芝生で、今後も強める児童との信頼

日の出町立大久野小学校  
校長 上田 忠之 (写真左)  
副校長 古瀬 義房 (写真右)



### 校庭芝生化のスタート

平成25年7月から校庭芝生化の工事を開始し同年9月に終了しました。同時に「芝生管理ボランティア (Ohguno Green Network)」の募集を始め、現在では保護者・地域の方約40名です。5月から10月まで月に1回活動しています。上田忠之校長は初めて校庭芝生を見たとき、爽やかさと涼しさを感じました。熱中症を心配した昨年5月の運動会では、芝生の快適さ優しさも実感しました。



### 人に優しい校庭芝生と地域とのつながり

維持管理の責任を担っている古瀬義房副校長は、生活指導の面から登校時の児童の流れや、芝生を使うルールも設定しました。前任者・環境整備の担当教員と密に連絡を取りつつ芝生保護優先ではなく、児童のための芝生を基本にしています。その芝生でリラックスする児童もいれば、思いっきり自由に動き回る児童もいます。転んでも余り痛くないので、運動会に器械運動の要素を取り入れ、表現の幅を広げることもできています。

3世代同居生という家庭もあり、地域の学校という感覚が強いですが、子供が卒業しても「芝生管理ボランティア」を続ける方もいます。大久野小学校の児童は地域の方や教員など大人を信頼していますので、その信頼に応え絆を一層強めるのに校庭芝生での活動が役立っています。



### 芝生の役割とこれからの展望

地域連携をはじめ芝生の維持管理は教員にも協力してもらっていますが、本校の教員は積極的に関わっています。そこに甘えることなく学校内での役割として、組織の組替えを図っていきます。御多忙の中、厚意で支援して下さるボランティアの方への御挨拶やお礼に加え、活動レターを発行して成果を発信し続けたいです。地域の方は芝生の状態を良く観察しておられ、状態を褒めてくださることもあります。いつも高評価をいただくのは難しいですが、引き続き校庭芝生に関心を向けていただければうれしいです。





# 技術支援事業

芝生のお悩み  
解決します！

東京都教育委員会では、校庭芝生化に取り組む学校や教育委員会に技術的なサポートを行っています。「維持管理の仕方が分からない」「最近芝生に元気がない」などお困りのことがありましたらお気軽に御連絡ください。



## 相談受付

計画段階のお悩みから芝生化後の維持管理まで、校庭芝生についての相談をお電話で受け付けます。



## 専門家の派遣

芝生の専門家を学校に派遣し、各校の状況に応じた助言等を行います。



## 実地講習会の実施

学校やボランティアの方向けに、芝生の維持管理に関する講習会を開催します。



## 区部

### 芝辰産業 株式会社

担当：春日

お問い合わせ

TEL. 03-3930-2287

## 多摩部

### 株式会社 栗芝

担当：栗島

お問い合わせ

TEL. 03-5903-5333

芝生に関する相談・悩み事、何でも受け付けています。

## 専門家としてのアドバイス

私どもはこれまでに多くの学校を訪問し、それぞれの学校における芝生化や芝生の維持管理に携わってきました。学校や教育委員会での芝生に関する様々なお悩みに、専門家としてアドバイスさせていただきます。お気軽に御相談ください。



## よくあるお問合せ

一番多いのは、芝生の育ちが余り良くないとか、擦り切れてしまったのでどうしたら良いかといった相談です。これは、実際に芝生を見てみないと詳しいことが分からない場合が多いので、専門家を派遣し、その学校の環境や芝生の状態を見極めた上で、最も効果的な対処法をアドバイスします。

# 東京都補助金制度

東京都は、芝生化、屋上緑化及び壁面緑化に必要な費用を補助します。

## 校庭芝生化事業

対象経費の1/2を補助します。なお、芝生の維持管理を地域協働で行う場合は、補助対象経費の全額を補助します。

公立小学校・中学校  
義務教育学校・特別支援学校

250m<sup>2</sup>以上の  
芝生化が補助対象

※一定の要件を満たせば100m<sup>2</sup>以上も対象（校庭面積が小さい、芝の生育が難しい場合など）

公立幼稚園

50m<sup>2</sup>以上の芝生化が補助対象  
駐車スペース4台分程度です。

### 面積の拡張

最初の事業補助の翌年度から  
3年以内

## 屋上緑化・壁面緑化補助

屋上緑化・壁面緑化の実施について  
必要な経費を補助します。

**屋上緑化** 補助対象経費の全額を補助します。  
(上限は1m<sup>2</sup>当たり53,000円)

**壁面緑化** 補助対象経費の全額を補助します。  
(上限は1m<sup>2</sup>当たり28,000円)

## 芝生化維持管理経費補助

専門的維持管理作業を実施する場合に、  
対象経費の1/2を補助します。

認証式と校庭芝生リーダー養成講座を開催しました。

令和元年度

# 校庭芝生の親方・匠

令和元年度で8回目となる認証式では、各校の教員や維持管理団体のリーダーを中心に、「親方」が5名、「匠」が7名認証されました。維持管理活動に携わる頼もしい先輩たちとして、ますますの御活躍を期待しています。

認証式に引き続き、「令和元年度第2回校庭芝生リーダー養成講座」を開催しました。「親方・匠」の方々に、芝生の維持管理組織への新しい仲間の迎え方について事例発表をしていただきました。参加された方々にとっては貴重な情報交換の場となり、今後の維持管理に携わる上でのスキルアップにつながる講座となりました。

### 校庭芝生の親方・匠とは？

東京都教育委員会は、校庭芝生の維持管理に継続的に取り組み、多大な貢献をされた方で、体制の構築や取りまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として認証しています。

### 認証者の 皆さん

#### 親方

宇田 陽一  
町田市立南第四小学校

並木 宏道  
渋谷区立長谷戸小学校

後藤 良秀  
町田市立鶴川第二小学校

青柳 浩男  
八王子市立第四小学校

川合 真理子  
西東京市立碧山小学校

#### 匠

種村 明宏  
渋谷区立長谷戸小学校

伊藤 猛  
日野市立滝合小学校

櫻井 輝子  
足立区立中島根小学校

岡 伸治  
国立市立国立第二小学校

荻野 昭  
清瀬市立芝山小学校

小坂 ヤス  
西東京市立碧山小学校

百田 明弘  
三宅村立三宅小学校

※所属及び役職は、認証当時のものです。

緑の学び舎づくり事業について  
詳しい内容を知りたい方は…

東京都教育庁地域教育支援部義務教育課  
校庭芝生化推進担当

TEL. 03-5388-3567





あっぱれ!

# 親方・匠

今回は、令和元年度に匠に認証された、渋谷区立長谷戸小学校をお訪ねしました。

渋谷区立長谷戸小学校  
児童数：197名  
(令和2年5月1日現在)  
芝生化面積：2,014m<sup>2</sup>

写真左から  
校長 佐藤 公信  
匠 種村 明宏  
親方 並木 宏道  
副校長 望月 伸司

## ●先生を支え、児童を応援したい熱い思い

平成28年(2016年)9月に校庭全面2,000m<sup>2</sup>超が芝生になりました。計画当初からPTA、地域の方は「先生に負担は掛けない。先生は授業に専念してほしい」、「長谷戸小学校と児童を応援したい」という思いで結束しており、現在PTA50名(任意参加)、地域の方8名、地域の体育委員等、合計約60名で芝生を維持管理しています。芝生化以前、約120名だった児童数は現在約200名です。



## ●児童の教育環境向上に地域が参加

休み時間、校庭芝生で児童はリラックスしたり、思いっきり体を動かしたり、とても気持ち良さそうです。教室に戻るときはスッキリした表情で、芝で浄化されストレスが落ちたようです。児童も先生も授業に専念できます。

地域の方は第一線で活躍中ですが、芝生の維持管理を喜んで支えています。親方の並木宏道さんは、「芝生の世話は奥深く楽しい」と笑顔で語ります。また児童が苗を育て補植する「芝育」効果に注目しています。芝生をいたわり「今日は別の場所で遊ぼうよ」と話しているそうです。匠の種村明宏さんは、専門家から学びながらも試行錯誤でした。「芝生の状態は毎年違います。悩みつつ成長を助け見守るのは子供を育てるのと同じです。大人がちょっと努力すれば子供に最高の環境を提供できます。」

## ●校庭芝生の有効活用拡大を目指して

校長・副校長先生は、校庭芝生をどのように維持管理しているか児童、保護者に伝えることと、児童が間近で芝生の世話を見る機会を増やすことを考えています。

親方、匠は芝生でのイベント開催と参加促進を挙げています。校庭芝生の良さを体験すれば、子供の環境、地域資産の観点で芝生を見てもらえます。大好評イベントの「大水鉄砲大会」、「バーベキュー大会」、「焼き芋大会」に加え、「芝生の上で汗をかいてみませんか」、「芝刈り健康法」、「青空昼寝大会」など参加したくなる企画を検討中です。

